

# 平成30年 火災の発生状況(速報値)

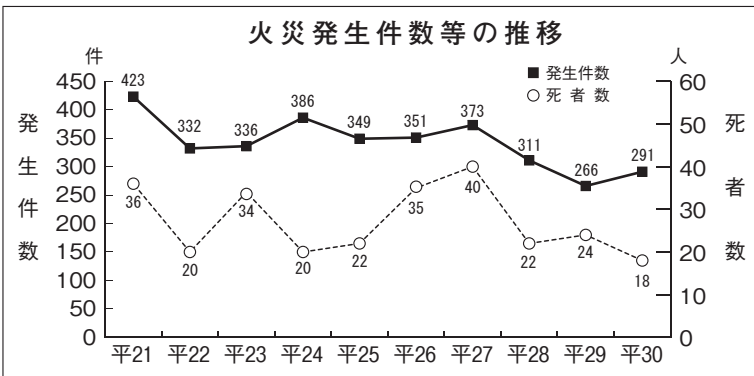
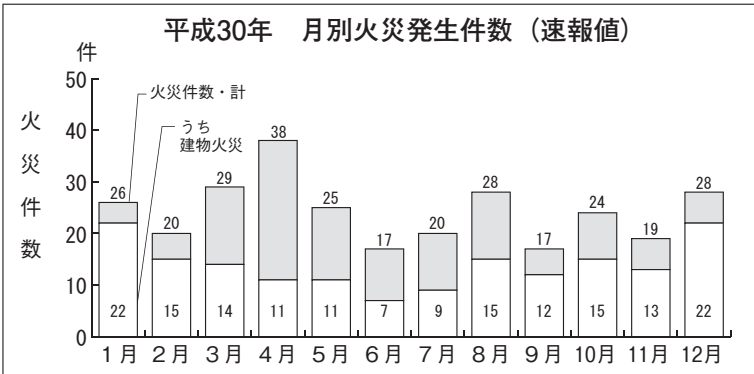
## 死者数は平成に入って最少に 火災件数は前年を上回る



題 字  
初代会長 松野盛吉  
定 価 1部 48円  
(購読料は年会費に含む)

発行人  
〒010-0951  
秋田市山王四丁目1番2号  
秋田地方総合庁舎内  
秋田県消防協会  
会長 中田 潤  
電話 018-867-7320  
FAX 018-863-5910  
<http://www.shoubou-akita.or.jp>  
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷  
〒010-0951  
秋田市山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 018-862-8760  
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>



(秋田県総合防災課調べ)

平成三〇年中の火災発生件数は二九一件で、前年比二二五件増。内訳は、建物一六六件(前年比増減無し)、林野一三件(同六件減)、車両三九件(同九件増)、その他七三件(同二二件増)となっている。また、平成二二年以降一〇年間の出火件数をみると、平成二二年に四三三件を記録したものの、概ね減少傾向となっている。

一方、火災による死者数は一八名で、前年から六名減少となった。

平成三十年度全国統一防火標語  
忘れてない?  
サイフにスマホに  
火の確認

春の火災予防運動  
四月七日〜一三日実施

平成三一年秋田県春の火災予防運動は、『忘れてない? サイフにスマホに 火の確認』の全国統一防火標語を掲げ、四月七日(日)から一三日(土)までの七日間、全県一斉に実施されます。

春の全国火災予防運動 4月7日~4月13日

10年たったなら、とりかえろ。

忘れてない?  
サイフにスマホに  
火の確認

制作 一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会 後援 消防庁 全国消防長会

このポスターは、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。

### 住宅防火 いのちを守る七つのポイント

- 三つの習慣
  - 寝たばこは、絶対やめる。
  - ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
  - ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- 四つの対策
  - 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
  - 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
  - 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
  - お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



第42回

消防職員意見発表秋田県大会

秋田県消防長会

第四二回消防職員意見発表秋田県大会(主催:秋田県消防長会)が二月十五日(金)、秋田市の「ホテルメトロポリタン秋田」において行われました。

この大会は、若手消防職員に職責を再確認させ、消防士の在り方を提案させる場として毎年開催されています。

今大会では、県内一二消防本部から選抜された若手消防職員が、日頃の業務の中から問題点を抽出し、その対応策や今後の展望などの考察を加え、それぞれのテーマに沿って、堂々と力強く訴えました。

審査の結果、最優秀賞一点、優秀賞三点が選ばれました。

■最優秀賞

大曲仙北広域消防本部  
消防士 藤井和磨

■優秀賞

北秋田市消防本部  
消防副士長 佐藤光世  
大館市消防本部  
消防士 斉藤祐人  
湯沢雄勝広域消防本部  
消防士 佐々木祐哉

意見発表のテーマと発表者名 (発表順)

- 火災に関する警告表示  
北秋田市消防本部 佐藤光世
- 太陽光発電を用いた消防水利について  
大館市消防本部 斉藤祐人
- 救命の第一歩  
男鹿地区消防本部 大塚直道
- 得意科目は「防災」  
鹿角広域消防本部 小館拓
- ことばの壁を超える相談員の支え  
由利本荘市消防本部 三浦圭悟
- いつか起こるその時のために  
五城目町消防本部 伊藤駿
- 願いの届く救急車  
横手市消防本部 佐藤梓
- 私たちの魅力  
秋田市消防本部 佐藤聖華
- 防災の時間  
湯沢雄勝広域消防本部 佐々木祐哉
- 命を繋ぐ救命エレベーター  
大曲仙北広域消防本部 藤井和磨
- 防災製品で救える命  
湖東地区消防本部 鈴木吏
- 次世代通信5G環境における消防業務  
にかほ市消防本部 渡辺賢

最優秀賞の大曲仙北広域消防本部藤井消防士は秋田県代表として、四月二六日(金)、福島市で開催される東北大会に出場します。

ここで、最優秀賞並びに優秀賞を受賞した意見を紹介します。

命を繋ぐ救命エレベーター



大曲仙北広域消防本部  
藤井和磨

目の前の大切な人の呼吸が止まった時・・・。一分一秒を争う緊迫した場面で、あなたに一秒でも早く勇

気を出して救命処置をしてほしい・・・。命を繋ぐあなたの大切な勇気のため、私は救命の瞬間に潜む闇に光を当て、見落としていたバリアを徹底的に取り除こうと思いました。

私の管轄地には、四階建て老人入所施設があります。ここは、よくある施設の特徴を持っています。一、夜間の職員が各フロアに一人しかいないこと。二、AEDを玄関だけに設置していること。この施設のどこに救命処置のバリアがあるのか。私は職員とコミュニケーションしました。設定は「深夜、四階での呼吸停止発生。」気付いた救助者が、エレベータ

1で玄関にあるAEDを取りに降り、一一九番通報し、他のフロアに協力を依頼した後、四階に戻って救命処置を行うという実験です。

実験の検証から、二つのバリアを見つめました。一つ目は、救助者の疲労です。四階に戻った時には、もはや肩呼吸。心臓マツサージも浅くなり、全身に血液を送る効果は薄れてしまいました。二つ目は、移動時間の長さです。エレベーターが各階で止まり、予想以上に移動時間がかかりました。結果、疲れた救助者が救命処置を開始するまで、五分三秒も経過してしまいました。

救助隊現場到着まで全国平均約九分。その六二パーセントが救命処置の準備だけに費やされています。この空白の五分間が、命を繋ぐことを妨げる、見落としていたバリアとなっていたのです。

そこで私は、この時間のバリアを取り除くアイデアを提案します。それが、「救命エレベーター」です。特徴一、AEDをエレベーター内に設置し、緊急時のみ使用する救急ボタンを装備します。あなたがこのボタンを押した時、エレベーターは他の階に止まることはなく、あなたのいる階にAEDが到着します。移動にかかる時間とあなたの体力を減らすことなく、空白の五分間を短縮できます。

特徴二、救急ボタンに、発信機と

しての機能を持たせます。これは、老人入所施設に設置義務がある、自働火災報知設備を利用しています。あなたが救急ボタンを押した瞬間に、急病人の発生とその場所を知らせる館内アナウンスが始まります。他のフロアの職員にも緊急事態を知らせます。また、連動する火災通報装置は一一九番通報の代役を果たし、私たち救急隊の到着時間も大幅に短縮できます。

AED搬送、周囲への協力要請、そして通報。救命連鎖の一部を担う新しいエレベーターが、あなたの負担を軽くし、速くて的確な救命処置の助けとなります。

超高齢社会の今、不測の事態は、この瞬間もどこかで起こっている可能性があります。「高層ビルの上層階で助けを求めている急病人・・・、一秒でも早く救命の手を届けたい・・・。」大丈夫。救急ボタンを押してください。AEDも、協力者も、私たち救急隊もすぐ駆けつけ、あなたの勇気を後押しします。

### 火災に関する警告表示



北秋田市消防本部

佐藤 光世

「どうしようやってしまった」全ては、一本の電話から始まった。自分の家が火災だという連絡を聞きつけ、男性は祈る思いで車を走らせた。・・・しかし、そこに煙を上げ、煙り続けていたものは、変わり果てた「我が家」だった。これは私が出た。火災現場での出来事です。「ちゃんと消したつもりだったのに」頭を抱えながら言ったその言葉が、今でも私の胸に残っています。この火災では、たばこの火の消火が不十分であったこと、そして、多くの可燃物がある中での喫煙が、火災へと繋がりました。

総務省消防庁の統計によると、全国で年間三、七〇〇件もの火災が、この「たばこ」が原因で起きています。これは原因別で見ると一番多い件数となります。これだけ火災の起因となる「たばこ」について、私は恥ずかしながら、真剣に考えたことがありませんでした。私はこの火災で、消防職員でしか聞くことのできない罹災者の声を聴き、火災から命、そして、財産を守る消防職員として、この現状をなんとかしたいという、強い使命感にかられました。

皆さんは、「たばこの安全な取扱方法」をご存知ですか。私はこれについて、実際にたばこを買い、どのような掲示がされているのかを調べてみました。するとそこには、なんと書かれていたと思いますか。そ

うです。「何も書かれていない」のです。「ちゃんと消した」と言っていた、その消し方が、どこにも書かれていないのです。それどころか、火災の危険性を記すものが、何一つ書かれていないのです。ここに、大きな落とし穴がありました。では一体、どこで消火方法を知り、また、火災の危険性を知り得るのでしょうか。「たばこ火災」がなくならない原因は、ここにあったのです。たばこを安全に愉しむためにも、火災の危険性と安全な消火方法を、たばこを手にとった人の、目につくところに記す必要があると考えます。

そこで私は提案します。たばこのパッケージに「火災に関する警告表示」を。

現在、たばこのパッケージには、「健康に関する警告表示」が掲示されています。そこへ新たに、火災の危険性と、安全な消火方法を加えた「火災に関する警告表示」を掲示します。これにより、入手ルートは様々ですが、その末端である、たばこ本体に掲示することで、この「警告表示」が必ず目に入り、防火意識の向上に繋がります。更に、「たばこの消火方法」と謳い、そこへ安全な消火方法を明記することで、今回のような、誤った消火が原因による火災を無くします。この掲示がないが故に、取扱方法は、喫煙者に委ねられており、中には危険な取扱方法

だと気付かず、火災に発展しているケースもあります。この掲示は、たばこ火災の抑止力となります。

火災現場でのあの言葉が教えてくれた。このパッケージを見ることで、変わる人がいる、守れる未来がある。

この発表までの間にも、たばこ火災は発生し被害を出している。火災のことを誰よりも思う消防職員として、これほど悲しいことはありません。

「火災を起こさず幸せであってほしい」この消防職員の思いを届けた。パッケージに載せて・・・。

### 太陽光発電を用いた 消防水利について



大館市消防本部  
斉藤 祐 人

みなさんは再生可能エネルギーを知っていますか。中でも太陽光発電は時計や充電器にも搭載され、私たちに最も身近な再生可能エネルギーといえます。このシステムを消防活動にも取り入れることはできないでしょうか。

そこで私が考えたのは、太陽光発電を搭載した消火栓や防火水槽など

の消防水利の開発です。このシステムには、消防水利の位置を指し示すレーザーポインター機能と、電力を供給する機能を搭載します。レーザーポインター機能は、標識に太陽光パネルを搭載し、ボタン一つで消防水利の位置を正確に指し示すものです。私たち雪国の消防は冬期間、積雪により消防水利が深く埋もれてしまふときがあります。これを解消するため、消防職員、消防団員、更には一般市民の方にも水利周辺を広範囲に除雪して頂いています。それでも火災時に水利が雪に埋もれていることもあり、ボタン一つで水利の位置がわかるため、除雪にかかる時間が大幅に減少され、円滑な消防活動に繋がります。

電力を供給する機能は、スマートフォンやラジオ等を充電できるようにします。この機能は大規模災害時に大いに役立ちます。現在スマートフォンは広く普及しており、連絡手段のみならず、情報取得手段としても欠かせないものです。昨年の北海道胆振東部地震の際には、停電が長引きテレビが見られず、スマートフォンが数少ない情報源や通信手段となりました。札幌市内では、市役所や携帯電話ショップなどに電力を求める市民が長蛇の列をなしたそうです。そんな時に、最寄りの消防水利から電力を供給することで、連絡・情報手段を途絶えさせることなく生

活することができそうです。ただ問題点もあります。第一に天候の問題、第二にコストの問題です。

第一の天候の問題として、雪国は冬期間、積雪により太陽光パネルが覆われ、全く発電できなくなってしまう時があります。同じように、夜間は太陽光がないため全く発電できなくなります。

しかし、北海道では太陽光パネルの角度を九〇度に設置して、太陽光パネルが雪で覆われるのを防いでいます。そのデータでは地上雪面からの反射などにより、通常の太陽光パネルの角度三〇度よりも効率が良い発電できたそうです。また、夜間は蓄電池を設置することで、日中に発電した電気を蓄え、対応することができます。

第二にコストの問題です。消防水利の数は多く、その全てを太陽光パネル付きの標識とするには、コストや時間がかかり非常に困難です。そのため、手始めに地域に身近な消防団車庫や避難所、容易に避難することができない方々の福祉施設などに併設されている、限られた消火水利への設置から進めます。これにより、まずは設置数を抑えて効果の実証を行い、地域住民への周知や理解を深めます。

問題点は前述したように、創意工夫を凝らすことで対応することがで

きます。再生可能エネルギーは様々な場所で使用されています。いずれ主流のエネルギーとなり、消防業務にも取り入れられることでしょう。

その先駆けとして、太陽光発電を用いた消防水利を活用していきませんか。今後、様々な再生可能エネルギーを用いた消防水利や施設が、私たちにとって当たり前のものとなる時代が来ると私は信じています。

### 防災の時間



湯沢雄勝広域  
消防本部  
佐々木 祐 哉

皆さん「日本は防災意識が高い国」だと思いますか？

世界で発生するマグニチュード六以上の地震の約五分の一は、私たちが暮らすこの小さな島国で起きています。また、地震に限らず毎年のように大雨、大雪といった多くの災害に見舞われています。昨年も、北陸豪雪や西日本豪雨、大阪北部地震など大きな災害が発生しています。まさに、日本は様々な災害が多発する災害大国なのです。しかし、災害が多い割に大人ですら防災への意識が低いというのが現状です。では、防災意識を高めるためには何が必要な

のでしょうか。

私は、子供のころから防災意識を育む環境が大切だと考えます。そこで、環境作りの一環として、小学校の授業に「防災の時間」を取り入れることを提案します。

皆さんは、今までどのような防災教育を受けてきましたか。私自身の記憶に残っているものは、避難訓練、防災マップの作成、地震体験車などです。このように自分の体験を振り返ると、一見防災教育は充実しているようにも思えます。しかし、子ども達は、大人がいない状況で事故や災害に巻き込まれてしまった時、自分自身を守る術があるのでしようか。おそらく、一九番通報すらままならないでしょう。

そこで、その防災教育の不足を補うのが、私の提案する「防災の時間」です。これは国語や算数のように、防災に特化した授業を設けるといふものです。授業というだけあって教える人が必要になります。学校の先生にも災害の知識や経験に限界があります。そこで登場するのが、災害現場の最前線に立つ私たち消防士です。防災のプロの観点で子どもたちに災害の厳しさや、いざという時の対応方法を教えることができます。普段の授業とは違い、子どもたちにとって地域のヒーローとも言える消防士の授業は印象に残り、大人になっても覚えていけるに違いあ

りません。

さらに、授業では「防災かるた」を活用します。防災かるたとは、子どもたちに覚えてほしい防災の知識をかるたにしたものです。インターネットで検索してみると様々な防災かるたが掲載されています。それを用いるのも良いのですが、より記憶に残すために、「防災の時間」で習ったことを取り入れた、独自の防災かるたを子どもたちに作成してもらいましょう。また、身近な地域の危険箇所や子どもたち自身のヒヤリとした体験談を盛り込み、具体性を持たせることも記憶に残すポイントの一つです。「防災の時間」のまとめとしてテストをするよりも、子どもたち自身が考え、防災かるたを作成することで授業の理解度も確認でき、その地域に合った防災対策ができます。

こうして「防災の時間」を通し、子供のうちから防災対策の基礎を学ぶ事で災害から身を守る力が付くことでしよう。

災害大国で暮らす我々は、毎年のように起きる災害とその被害がなくなるという限り、防災対策とともに防災教育についても見直さなければなりません。そして、その一環として小学校の授業に「防災の時間」が導入された時、我々の防災意識はさらに高まることになると考えます。

\*紙面の関係で一部再編集しています。

平成三〇年度

全国消防団員意見発表会

主催.. 消防庁

平成三一年二月一〇日(日)、

ホテルルポール 麹町(東京都千代田区平河町)において「全国消防団員意見発表会」が行われ、本県から湯沢市消防団の佐藤章団員が全国一一名の消防団員の一員として意見を発表し、優良賞を受賞しました。



平成三〇年度

福祉共済事業等による 車両の交付 (公財)日本消防協会



湯沢市消防団



美郷町消防団

株式会社タカギ

秋田県横手市寿町1番28号  
TEL (0182) (32) 3880  
FAX (0182) (32) 0839

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンパイホース  
トーハツポンプ | シバウラポンプ  
各種消防機械器具 | 各種消火器  
消防設備保守点検

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>  
E-mail [ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp)

トーハツ消防ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
消防被服全般  
秋田県代理店

総合防災設備センター

株式会社 高義商会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
ジェットホース  
消防被服全般  
消防報知器各種  
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32  
TEL(0183) (42)2125  
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183) (73)2588

# 「防災に関する講習会」を

## 開催しました

主催：(二財)秋田県消防協会

平成三一年二月九日(土)、当協会大仙仙北美郷支部の協力を得まして、同支部管内において「防災に関する講習会」を開催しました。

講習会には支部管内の消防団員と大曲仙北広域消防本部職員など約三〇名が参加しました。

当日の講師は、防災アナリスト(元東京消防庁消防官)金子富夫氏にお願いしました。



ノズルを使用した消火の実技を行いました。

講習会は始めに、大仙市大曲交流センターにおいて、金子講師から平成二八年一二月に発生した糸魚川大火などの現場の状況や「新消火法」について説明がありました。その後、美郷町水防倉庫前に移動し、新しい

# 『第二四回全国女性消防操法大会の出場順が決まりました』

## □開催日

平成三一年一月一三日(水)

(開催日前日、激励交流会が行われます。)

## □開催場所

神奈川県横浜市

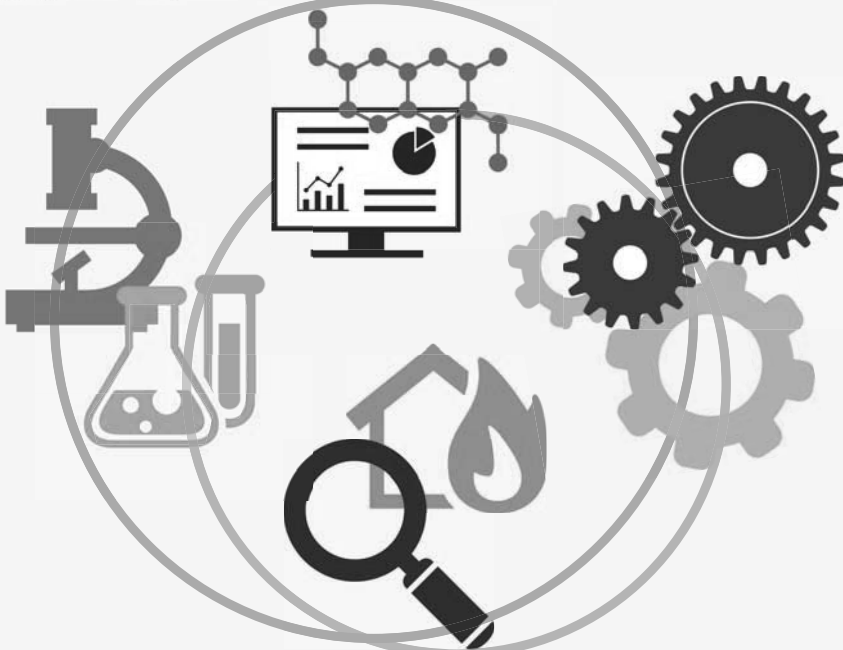
(横浜赤レンガ倉庫イベント広場)

## □出場順

平成三一年二月二六日(火)、日本消防協会において、出場順位の抽選が行われ、秋田県は「第二コース一番」に決定しました。

なお、詳細については四月に開催される、大会運営委員会終了後に日本消防協会から通知されます。

## 消防防災科学技術賞 2019



## 作品募集 4月1日(月)~5月7日(火)

### ■募集区分

#### ▼消防職員・消防団員等の部

- A. 消防防災機器等の開発・改良
- B. 消防防災科学論文
- C. 原因調査事例

#### ▼一般の部

- D. 消防防災機器等の開発・改良
- E. 消防防災科学論文

### ■表彰

優れた作品には、2019年11月に行われる表彰式において、消防庁長官より表彰状及び副賞を授与します。

●応募作品はホームページにて紹介します。●表彰作品の公表は9月頃の予定です。●詳細は消防研究センターホームページをご覧ください。

### ■問合せ先

消防庁 消防研究センター 研究企画室  
TEL: 0422-44-8331 FAX: 0422-42-7719 E-mail: hyosho2019@fri.go.jp  
消防研究センターホームページ: <http://nrifd.fdma.go.jp/>



防火水そうの点検清掃用吸管と点検清掃システム

平成30年度



スマートフォンを用いた消防活動用地理情報システム

表彰作品





廃油再生燃料の製造所で発生した火災の調査報告



ハイブリッド・ホース巻取り機の開発

◆ 消 防 団 員 研 修 ◆

秋田県消防学校

第5期幹部教育指揮幹部科分団指揮課程				第64期基礎教育		
平成31年3月2日(土)~3日(日)			教育期間	平成31年3月9日(土)~10日(日)		
35人 (20消防団)			入校者数	21人 (8消防団)		
分団長、副分団長の階級にある者			対象者	入団して概ね3年未満の消防団員		
			集合写真			
消防団名	階級	氏名	入校者 名簿	消防団名	階級	氏名
鹿角市	副分団長	古家冬樹		鹿角市	団員	兎澤彰吾
大館市	分団長	花田寿	鹿角市	団員	木村拓海	
北秋田市	副分団長	平川貴之	北秋田市	団員	佐藤直樹	
上小阿仁村	分団長	大沢義満	男鹿市	団員	鎌田和彦	
能代市	分団長	工藤博史	男鹿市	団員	柏木久志	
三種町	副分団長	島田久昭	男鹿市	団員	三浦弘幸	
三種町	副分団長	遠藤勝昭	男鹿市	団員	進藤裕明	
男鹿市	部長	渡部智	八郎潟町	団員	三浦宏也	
潟上市	副分団長	小林秀美	由利本荘市	団員	小松則夫	
潟上市	部長	菅原久允	由利本荘市	団員	今野光	
八郎潟町	副分団長	鎌田恒男	由利本荘市	団員	岡田一希	
八郎潟町	副分団長	松田一成	由利本荘市	団員	木村直登	
秋田市	分団長	佐々木徹	由利本荘市	団員	三浦貴廣	
秋田市	分団長	倉田芳浩	由利本荘市	団員	藤山恭輔	
秋田市	分団長	川邊功	にかほ市	団員	渡辺圭輔	
秋田市	分団長	佐藤孝徳	にかほ市	団員	今野聖治	
秋田市	分団長	酒井慶一	にかほ市	団員	今野大輔	
由利本荘市	副分団長	木村伸英	仙北市	団員	阿部晃之	
由利本荘市	副分団長	大友仁志	湯沢市	団員	藤平真	
由利本荘市	副分団長	佐々木善永	湯沢市	団員	高橋光義	
由利本荘市	副分団長	齋藤聖司	湯沢市	団員	佐藤拓弥	
由利本荘市	副分団長	佐藤利市				
にかほ市	副分団長	佐々木剣				
大仙市	副分団長	佐藤重孝				
横手市横手	分団長	中山清悦				
横手市平鹿	副分団長	田中正博				
横手市平鹿	副分団長	橋本暁				
横手市平鹿	副分団長	柿崎豊				
横手市雄物川	分団長	皆川勝雄				
横手市山内	副分団長	高階勝大				
横手市大雄	副分団長	小田嶋敏夫				
湯沢市	副分団長	樋渡昭彦				
湯沢市	分団長	大井清一				
湯沢市	副分団長	押切吉明				
東成瀬村	副分団長	鈴木良男				

消防半天・帯・団旗  
優勝旗・ゼッケン  
手拭・タオル・のれん  
旗幕類名入染物専門

寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

# 支部情報アラカルト

## 『消防団員研修を実施』

二月二四日(日)、消防団員の資質向上を目的として、当支部主催の「中堅幹部及び初任団員研修」を北秋田市民ふれあいプラザコムコムにおいて実施しました。

「中堅幹部研修」では、北秋田市消防本部職員を講師に迎え、講義(道路交通法と防火対策)と実技(訓練札式と救命訓練)が行われました。受講者は緊急自動車を安全に運用するための注意事項、防火管理制度や一般住宅における防火対策について学び、実技では訓練札式のほか、簡易な救助・応急手当・搬送法を教わりました。

また、「初任団員研修」では大館市消防本部職員を講師に迎え、災害図上訓練と実技(訓練札式とロープ結索)が行われ、出動から帰



団までにおける注意事項や事故発生要因を踏まえた災害図上訓練では、



緊張のためか訓練序盤は発言を控える受講者も見られましたが、各班の講師の助言を受けながら、徐々にお互いの意見を共有していく

姿が見られました。さらに実技では、訓練札式のほかにロープ結索及び降雪作業事故防止について説明を受けました。

支部事務局では、受講された消防団員の方々の意見や要望を反映しながら、今後より充実した研修を継続し地域防災力の中核を担う消防団の強化に繋がられるよう、努力していきたいと考えております。



(情報提供 大館北秋田支部)

### 平成三一年度

## 秋田県山火事予防運動

この運動は、山火事が多発する春季において、県民一人一人に山火事予防思想の普及を図り、森林資源と自然環境の保全に努めることを目的に実施するものです。

### 統一標語

忘れない

豊かな森と

火の怖さ

### 実施期間

平成三一年四月一日(月)から五月三一日(金)までの二ヶ月間

### 火災の発生状況(速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成31年		平成30年			同期比較	
	2月	累計	2月	累計	年計	2月	累計
建物	17	27	15	37	166	2	-10
林野	0	0	0	0	13	0	0
車輛	3	4	5	5	39	-2	-1
その他	0	0	0	4	73	0	-4
合計	20	31	20	46	291	0	-15
死者数	2	5	2	4	18	0	1
負傷者数	9	15	7	12	46	2	3

モリタ消防ポンプ  
桜ホース・ソフト吸管  
各種消火器

シバラポンプ  
消防被服一式  
消防機器一式

株式会社 能代消防センター  
株式会社 協立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57  
TEL (0185) (52) 6494  
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防  
ポンプ自動車  
小型ポンプ  
ホース

設 備  
火災報知器  
スプリンクラー  
消火器

## 猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)  
猿田興業ビル3F FAX 018 (824) 3651